

礼拝さいこう

「教会音楽専門委員って、何？」

教会音楽専門委員 宇都宮 毅（岐阜教会）

私に教会音楽専門委員にならないかという依頼が来たのは、今から6年ほど前でした。私は、教会音楽専門委員というのは、音楽のプロ、専門家になるもので、私みたいな素人ができるものではないと思っていました。江原美歌子室長に、お断りの電話をかけたところ、逆に一緒にやってみましょうと言われ、結局何をするのかもわからないまま、委員になりました。

教会音楽専門委員会議は、日本バプテスト連盟の宣教部の中にある一つの部署である教会音楽室にあって、教会音楽室長の諮問委員として立てられているメンバーによって構成されています。ところが、その委員になって、私が感じることは、この委員会議は、音楽専門家の集まりではないということです。確かに、大きな働きとして『新生讃美歌』推進がありますが、決して「教会音楽」のことだけを考えているのではなく、礼拝をどうしたらよいのか、教会をどうしたらよいのかということを考えているところなのです。

2年に一度、各連合の教会音楽を担っておられる方々に来ていただき、お話を伺います。その連合によって、違いがありながら、しかし共通する悩みがあります。諸教会・伝道所の皆さんから、こちらに届く叫びはこのようなものです。「教会が高齢化し、礼拝の奏楽者がいないのだけれども、どうしたらよいのでしょうか？」とか、「礼拝の賛美歌の選曲に困っています。高齢の方々と若者たちの選ぶ賛美が違うんです」とか、「牧師と

奏楽者とのコミュニケーションを取るのに困っています」というようなものです。

これらの事柄は、まさに教会形成の問題で、各個教会では、なかなか解決できないことを協力伝道の中、考えようとしているのです。そして、そんな悩みをお聞かせいただいて、皆さんがお帰りになる時に、「連盟にこのように、教会音楽、そして礼拝に関する悩みを聴いてくれる場所があったのですね。私たちは、一人ぼっちではないんですね。良かったです。」というお言葉をいただきます。委員をされていて本当に、良かったと思えるときです。

教会音楽専門委員会議とは、協力伝道の業の中、諸教会・伝道所の礼拝を豊かにするためのものであり、諸教会・伝道所に仕えていくところです。それは、まさに教会の根幹である礼拝を考え、教会形成について考えています。ぜひ皆さんの声を聞かせていただきながら、共に、豊かな礼拝とは何か、これからの教会はどう立つのか、考えていきたいと思っています。

それぞれ皆さまの教会・伝道所では、アドベントの時をお過ごしと思います。今わたしたちの世界は、人を支配しようとする力による暗闇によって、覆われているかのようです。しかし、この時だからこそ、希望の福音を貫き、和解の主イエスの誕生を祝うクリスマスと共に礼拝したいと願います。連盟に連なる諸教会・伝道所の上に、主の豊かな守りがありますように。

礼拝のストーリーに聴く

今回は **緑の牧場教会** の礼拝プログラムのレポートです。

緑の牧場キリスト教会牧師 **酒井敬仁**

主日礼拝プログラムと、クリスマス礼拝のプログラムをご紹介します

礼拝は毎週3回

●土曜日夕方6時45分～

●日曜日朝 9時15分～

●日曜日朝10時30分～

一般向け。日曜日に参加できない方のために。
静かな雰囲気の礼拝。一般と教会学校教師向け。
 クリスマスは10時30分からの礼拝に合流
 一般向け

2013.9.29

礼拝プログラム こどものお話の聖書箇所

私の同族の滅びるのを見てがまんしておらなましようか。
エステル8：6

第1 礼拝の流れ <small>もしかすると、この時のため?</small>		
奏 楽	主のみ前に参りましよう	
主への讃美	イエス麗しいみ名	いっしょに
祈り		司 会 者
歓迎の時	わたしたちは神様の家族です!	おたがいに
賛 美	主よみ手もて	いっしょに
ささげもの	(第II礼拝に出席される方はその時にお願ください)	
聖書の言葉	エステル4章13-17節	司 会 者
メッセージ		吉村朋大兄
主への讃美	主イエスを求めることこそ	いっしょに
祈りの時	感謝・リクエスト・主の祈り	それぞれに
主への賛美	父・み子・み霊の	いっしょに
祝 禱		酒井敬仁牧師

第2 礼拝の流れ <small>もしかすると、この時のため?</small>		
奏 楽	主のみ前に参りましよう	
讃美と祈り	主のみ名により	いっしょに
歓迎の時	君は愛されるため生まれた人	おたがいに
おはなし	よいと思うこと?	酒井敬仁先生
ささげもの	感謝します (奉仕) 藤田美穂姉、吉田ノエミ姉	
主への賛美	イエスのみ言葉は	いっしょに
-ここでこどもたちとせんせいがたは分級礼拝にうつってください-		
聖書の言葉	エステル4章13-17節	司 会 者
メッセージ		吉村朋大兄
主への賛美	向こう岸へわたろう	いっしょに
祈りの時	感謝・リクエスト・主の祈り	それぞれに
主への賛美	父・み子・み霊の	いっしょに
祝 禱		酒井敬仁牧師
報 告		司 会 者
一斉掃除	ご一緒に掃除をいたしましう	

■いろいろな方々がいっしょに礼拝できるように願っています
 毎主日、耳のご不自由な方、日本語がまだお話できない方々のために配慮をしています。(耳のご不自由な方のために、プログラムと説教の完全原稿の準備と補助者・外国から来られている方のためにメッセージの英訳と賛美歌のローマ字表記など)

■賛美歌
 「新生讃美歌」の他に、ワーシップソングなどを取り入れていています。牧師と奏楽者が相談して選曲します。

■歓迎の時
 毎回、前半部分で、「歓迎の時」を持っています。これは20年ほど前から続いています。お互いを歓迎する意味をもった讃美歌(「緑の牧場ミッションステートメント」、「ファミリー」、「君は愛されるため生まれた」、「God bless you」とか)を歌います。その讃美の途中、奏楽の流れる中、全員それぞれに歩き回って、握手したり挨拶したりしています。礼拝がとても温かい雰囲気になります。

■ここでこどもたちとせんせいがたは分級礼拝にうつってください
 第一主日の他は、子どもたちは、大人のお話になると別室で分級をします。

クリスマス

礼拝プログラム こどものお話の聖書箇所

わたしが道であり、真理であり、命なのです。
ヨハネ14：6

第2 礼拝の流れ <small>サクセス・ストーリー (成功物語)</small>		
奏 楽	主のみ前に参りましよう	
讃美と祈り	天には栄え	いっしょに
歓迎の時	君は愛されるため生まれた	おたがいに
特別賛美		Together
1. I'll follow Him 2. We are the world		
ささげもの	122わが主ささげます (奉仕) 金岡聖兄・安島山姉	
子どもから受ける福音	-クリスマス劇-	教会学校
主への賛美	牧人、羊を	いっしょに
聖書の言葉	ヨハネ福音書14章6節	司 会 者
メッセージ	サクセス・ストーリー	酒井敬仁牧師
主への賛美	神の御子はこよいしも	いっしょに
祈りの時	感謝・家族のため・被災者のため	それぞれに
主への賛美	父・み子・み霊の	いっしょに
祝 禱		酒井敬仁牧師
報 告		司 会 者
プレゼントをお受け取り下さい (子どもはお菓子・大人はにゅんだるるピンチです)		
祝 会	食事…出し物…楽しいゲーム	

■Togetherの紹介

登録メンバーは14人(教会員は6人)で、常時練習に集まるのは7~10人位です。指導者はクリスチャンではありませんが、教会の働きに賛同してくださっている方です。目的は伝道で、教会を開放しています。最初の頃は、技術を高めて教会の聖歌隊に、という希望もありましたが、話し合いの末、伝道の働きと位置づけて、クリスチャンでない方にもお誘いして、楽しく歌えることを大切にしています。奉仕の場として…特伝・イースター・クリスマスには特別讃美をしています。また地域の発表の場として、今年は広島ピースベルコンサートに参加いたしました。練習は月に二回。第二、第四土曜日の午前中に練習をし、毎回、最初と最後にお祈りしています。発表の前、イースターやクリスマスの前などは、毎週練習しています。歌う曲は賛美歌(ブラックゴスペル・英語・日本語の讃美歌)です。運営は、教会の伝道の働きの下、教会員が責任を担っており、会計や選曲などは、毎年、話し合って委員を決めています。

Q&A (緑の牧場教会礼拝プログラム)

Q 礼拝9時15分からは静かな雰囲気にとありますが、どのような理由からですか？賛美歌の選曲など、ほか工夫がありますか？

A 今はそれほどではありませんが、かつて10時30分からの礼拝はドラムやベースギターも入って讃美を献げる賑やかな礼拝を行っていました。しかしながら当然、そのような賑やかな中で落ち着くことが難しい、元気のない方や、心のご病気の方がおられ、できれば静かに礼拝をおささげしたいという願いをもっておられました。ちょうど教会学校の教師たちのために9時15分から礼拝をしていましたので～月の最初の主日以外は、子どもたちは大人のメッセージの時には分級にうつりメッセージを聞くことが出来ませんでしたのでそのためにその礼拝をもっていました～その礼拝は静かな雰囲気で行うことにいたしました。その時から現在までその礼拝は、オルガン演奏で、昔からの歌い慣れた讃美歌を歌っています。

Q 賛美歌の選曲は牧師と奏樂者が相談してとありますが、いつ（主日の何日前？）またどのようにされますか？

A 金曜日の夕方に行っています。しかし、奏樂の練習に時間をたっぷり取りたいという方のためには、2週間程前に相談して決めることもあります。

Q 礼拝式順の左欄の項目が具体的でよいですね。賛美も「讃美と祈り」「特別賛美」「主への賛美」など、賛美の内容が分かるようになっています。この方法はいつからですか？

A これは、子どもたちといっしょに礼拝を持つようになったり、外国の方々や耳の不自由な方が来られるようになったことがきっかけだと思います。ごく最初の頃から、このような言葉で表記しています。今も子ども週報があります。また以前は英語版の週報も作っていました。できるだけ、どのような流れを通して神様に礼拝をおささげするのか、そのために今、何をしているのか？を理解していただきたいと思う気持ちからです。

Q 礼拝の流れ というのもわかりやすいですね。この言葉が採用されるようになった背景は？

A 神様と交わり、人々と交わるには、作法が必要だと思いました。ですから、礼拝の内容や準備については、いろいろな話し合いがなされてきました。今も、時には話し合います。作法に流れがあるように、礼拝も流れがあると思っています。

Q セレブレーション・プログラムのイメージは？

A 今は礼拝人数が少ないということもありますが、それでも喜びをもって主のみ前に出て、心からの感謝と讃美をお届けしたいという気持ちがあります。主の御前で、心を開いて、喜び合うというイメージでしょうか。

「賛美歌を創作しましょう！」と呼びかける中、なかなか、賛美歌を作ることに難しさを感じられているかたが多いように思います。そこで、おススメしたいのは「替え歌で創作賛美歌」です。11月に行われた第59回定期総会での一コマ、那覇新都心キリスト教会の連盟加盟申請が承認された後、歓迎のセレモニーの中で、参加されたメンバーによるご挨拶に続いて、以下の「替え歌」賛美歌が歌われました。旋律はおなじみの「涙そうそう」です。歌の中で手拍子もあり、最後には主への感謝とともに喜びの拍手が沸き起こりました。皆様の教会でも、教会の賛美の思いを詞にのせて賛美歌創作してみませんか？

「ニフェーデービル」（心からの感謝） 作：那覇新都心キリスト教会

古いアルバムめぐり ニフェーデービルってつぶやいた
いつもいつもお祈りで 励ましてくれる人よ
晴れ渡る日も雨の日も 注ぐ主の恵み
生まれた キリスト教会で
神の国 すでに来た 希望の祈り メンソーレ
神の国 すでに来た 希望の祈り メンソーレ

♪ 賛美歌を
創ってみよう♪

オルガン・ピアノに限らずいろいろな楽器で奏でてみませんか？

新生讃美歌164番 きよしこのよる

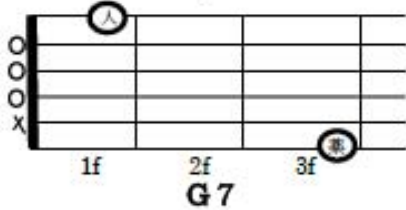
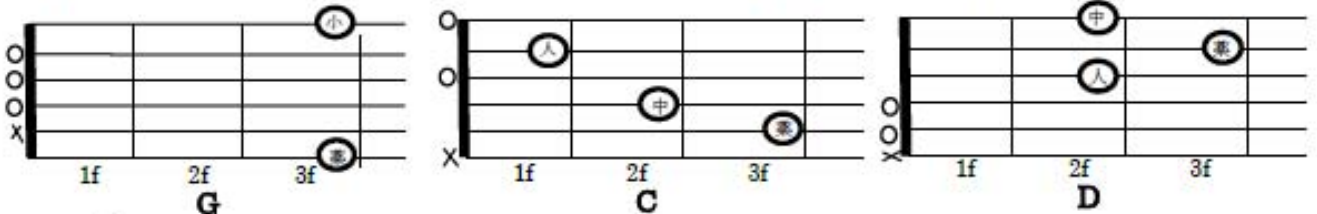
西野修平 (北九州教会)
ギタリスト・ギター教室講師

Key: G(原曲: B♭) Capo: 3フレット(カポタストがあれば)

G G D G G7
6/8 | きよ し | このよ る | ほし は | ひかり |

C G C G
6/8 | すく いの | みこ は | まぶ ねの | なか に |

D G G D G
6/8 | ねむ りた | も う | いと やす | く |



Ex-1 Gのアルペジオ



Ex-2 Cのアルペジオ



Ex-3 Dのアルペジオ



Ex-4 G→G7のアルペジオ



解説 コードについて

☆D, Gは前回のニュースレターを参照して下さい。
☆G7は、Gの時に1弦3fを押さえていた小指を外して、1弦1fを人差し指で押さえます。Cに行く前にG7を弾くと少しお洒落になります。
☆Cは、1弦と3弦が開放弦(指で弦を押さえていない状態)なので、2弦と4弦を押さえている指が開放弦に当たらないように、それぞれ人差し指と中指をしっかりと立てましょう。弦に対して指を垂直にして押さえるイメージです。6弦は、親指で軽く触れてミュート(消音)するのが理想ですが、この曲では弾かない弦ですので、あまり気にしなくてもよいでしょう。

解説 奏法について

☆この曲はぜひアルペジオで弾いてみましょう!!まずはひとつのアルペジオパターンをマスターしましょう。TAB譜で説明します。TAB譜では、一番上の線を1弦とみて、以下2弦、3弦・・・となります。実際のギターは、構えたときに一番上の弦が6弦、以下5弦、4弦・・・となりますのでご注意ください。
☆このパターンは、ベース弦(6、5、4弦)・3弦・2弦・3弦・1弦・3弦をひとまとまりとします。右手は、ベース弦を親指、3弦を人差し指、2弦を中指、1弦を薬指で弾きます。コードによって弾くベース弦は違いますが、3弦・2弦・1弦のパターンは変わらないので、Ex-1~Ex-5までそれぞれ慣れるまで弾いて、慣れてきたら曲にチャレンジしましょう。

Ex-5 G→Dのアルペジオ



奏楽者育成 ひろじえくと

美登恭子（高須教会）

クリスマスのすてきな賛美歌も
コードネームだけで困っていませんか？

- まずは右手の練習をしっかりとやりましょう。
運指（指使い）がスムーズに行くことをめざして…。
左手はコードネームの和音を二分音符でつけています。
ピアノだけでなくオルガンでの伴奏にも使えます。

イエスがここに 新生讃美歌180番

詞・曲 福永保昭

1 2 3 4 3 1 3

2 3 4 4

2 1 2 3 4 1 2 3 1 2 1 2 4

4 1 2 1 2

●ピアノ用に和音の音を使つての伴奏です。

イエスがここに

1 2 3 4 3 1 3

2 3 4 4

2 1 2 3 4 1 2 3 1 2 1 2 4

4 1 2 1 2

* 「新生讃美歌ハンドブック」より抜粋。ハンドブックをどうぞご活用ください！

<作品の背景>

1989年11月、三鷹教会の教育主事をしていた作者は、クリスマスを前に小羊会の準備をしていました。“クリスマスが子どもたちにとって意義あるときとなってほしい。子どもたちに歌いやすい賛美歌を”との願いをこめてクリスマスの賛美歌を探しましたが、ふさわしいものがみつかりません。集会は目前に迫っていましたが、短時間のうちにその場で書きあげられ、この賛美歌は生まれました。「どこかで聞いたような曲となりましたが、それだけに子どもたちはすぐに覚えて歌うことができました。2節は“十字架の道 手をとりあって”とし、十字架に従うイエスを強調していたのですが、準備を手伝っていた中高生から“喜びの道”がいいとアドバイスがあり変更しました。また、当初の詞は“私の胸の中で主イエスは、生きて愛されて、励まされる”でしたが、主語を明確にするために委員会では訳が調整されました。シレジウス (Angelus Silesius, 1624-1677) の作品にある“キリストベツレヘムに生まれたもうこと千度に及ぶとも、キリスト汝が心の中に生まれたまわずば、魂はなお打ち捨てられてあり”という言葉から作品のイメージを得ています”(福永保昭)。

日本賛美歌学会第13回大会報告

教会音楽室長、日本賛美歌学会小賛美歌集編集委員 江原美歌子

さる9月14日(土)日本賛美歌学会第13回大会が青山学院短期大学チャペルで開催されました。この学会は、賛美歌研究を教派を超えて取り組んでいく目的で設立され、大会は毎回、礼拝での賛美の実践を大切にしているプログラムが組まれています。主題は「知ろう！歌おう！「わたしたち」の賛美歌」～ヒム・フェスティバル2013～、ヒム・フェスティバルでは『日本聖公会聖歌集』、『新生讃美歌』、『教会福音讃美歌』が紹介され、たくさんの曲が歌われました。その中で『新生讃美歌』のプレゼンテーションを担当させていただき、『新生讃美歌』の編纂の歴史を辿りつつ、1) 伝道の歌、2) 創作賛美歌、3) 礼拝、4) 新しい歌の特徴をあげ、他派の方々にとっては新曲と思われるものを中心に紹介していきましました。プレゼンを終えての感想は、『新生讃美歌』が「歌いやすい」という特徴があることでした。大衆を意識して会衆賛美を推進した北部バプテストのネーサン・ブラウン宣教師からのよき伝統が継承されていることを実感しました。課題としては、歌う言葉に対するさらなる吟味、検討がなされていくことです。賛美歌検討委員会議では賛美歌の評価基準をもとめて模索しているところで、「新生讃美歌フォーラム」、「第10回全国礼拝音楽研修会」でも、課題を共有していきたいと願っています。

ほか、研究発表として「初期メソジストの讃美に託されたもの一個人的体験から共同体の信仰告白へー」（山本美紀）、「オリジナル小歌集」紹介では、欧米の新作の創作賛美歌を中心に11曲が紹介され賛美しました。今回よりこの小歌集の編集委員となり、1曲を訳させていただき、創作賛美歌における新しい試みを学ぶことができました。歌集をお求めになりたいかたは、教会音楽室までお問い合わせください。

～参加者の感想～

洋光台キリスト教会 山下真実

参加したきっかけ…神学校で、賛美について関心をもって学んでいます。特に、賛美における歌詞が重要であると考えています。最近、賛美歌(いわゆる伝統的な賛美歌集に含まれるような賛美歌)の歌詞にも興味を持っており、そのような中で、特に興味をもっていた福音讃美歌教会の『教会福音讃美歌』、そして私自身が所属する日本バプテスト連盟の『新生讃美歌』が取り上げられる学会に参加しました。

3つの賛美歌集を実際に歌う中で…『日本聖公会聖歌集』からは、伝統をととても大切に、そこに残されている過去の信仰者たちの言葉や音楽を受け継ごうとする姿勢が見られました。『教会福音讃美歌』は、日本の多くの教会で、いかに使ってもらえるかという視点で作られていることがよく分かりました。そのためのCDや対応表等各種ツールの制作など、継続的な取り組みが印象的でした。また、伝統やユーザーに合わせるだけでなく、積極的に新しい言葉、音楽、賛美歌を紹介していこうという姿勢も、超教派の組織が作る歌集ならではの力だと思いました。『新生讃美歌』からは、聖公会聖歌集と同様、過去の伝統や信仰の言葉を大切にしながらも、時代の変化に寄り添い、新しい言葉や賛美に挑戦していく、その取り組みの成果を感じました。教会と共に、隣人と共に、世界と共に、賛美の歌を紡いでいく。バプテストらしいその協力伝道の姿勢が、歌集にも表れていると思いました。どの歌集もそれぞれに良さがあり、お互いの良さを学び合う良い機会になったと思います。「新生讃美歌」にはこれからも、伝統を大切にしながら、新しい賛美歌へと世界に目を向けながら、進んでいって欲しいと思いました。現実的な面で言えば、今後『教会福音讃美歌』のように、コンテンポラリーな曲が加えられていく必要と、それに伴いギターコードの追加は必須でしょう。

あたらしい賛美歌「オリジナル小歌集」紹介…新しい賛美歌はどれも興味深かったです。「こんな賛美歌もあるのか！」というのが第一の印象。しかし同時に、「賛美歌」とは何かを考えさせられました。「賛美歌」は字義的には「神を賛美する歌」ですが、紹介された中には(もちろんこれまでの賛美歌にも)神に向かっては歌われない歌もありました。歌詞の方向性の問題です。純粋な神賛美ではない曲も、「賛美歌」として歌集に含まれ、礼拝式では「賛美歌〇〇番をもって主を賛美しましょう」と司式者に導かれる。(本来は「教会音楽」とした方がベターでしょうか) その違和感を再認識した時でもありました。賛美の多様性を知ると共に、それを識別する力も私たちには必要だと思われました。



賛美歌は語ります 「来たれやインマヌエル」 新生賛美歌149,150番

賛美歌「来たれやインマヌエル」はメシア到来の希望と驚きを語ります。「見よ、おとめが身ごもって、男の子を産み、その名をインマヌエルと呼ぶ」（イザヤ書7章14節）。これは、見えないものについての信仰と期待の賛美歌です。「信仰とは、望んでいる事柄を確信し、見えない事実を確認することです」（ヘブライ人への手紙11章1節）。見えないものを信じるには確固たる信仰が必要です。

待降節（クリスマス直前の4回の日曜日）は、キリストの降臨を期待して準備する期間です。預言者たちは、4世紀もの長きにわたって、メシアが現れてユダヤの民を救ってくれると予言してきました。ヘブライ人への手紙11章には、私たちの祖先が、メシアの到来を信じて、どのように信仰を貫いてきたかの記録が示されています。彼らは、キリストの降臨を400年間も信じ、待ち望み、次世代へと語り継いでいきました。私たちにはキリストの降誕を記録した新約聖書があります。キリストの降臨が実現した今、私たちはキリストの再臨を信じて、クリスマスの前に待降節をお祝いします。しかし、私たちは、メシアの到来を予言した旧約聖書しか読んでいなかったとしたら、それでもメシアの到来を信じ続けることができただしょうか？クリスマスにイエスが降臨されることを信じて期待し続けるには、尋常ではない強い信仰が必要だったことでしょう。現在でも、イエスはメシアではない、だからまだメシアの到来を待ち続けていると教える宗教もあります。新約聖書のマタイによる福音書1章23節に、天使がヨセフに現われて、生まれてくる男の子はインマヌエル（「神は我々と共におられる」という意味）と呼ばれるとのイザヤ書7章14節を引用する箇所があります。また、マタイによる福音書16章16節には、「あなたはメシア、生ける神の子です」と答えたペテロの証が記されています。

プレインソング（単旋聖歌）の調べで歌われるこのラテン語の賛美歌「Veni, Veni Emmanuel（来たれやインマヌエル）」は8世紀頃に作詞されました。1455年にグーテンベルグが印刷機を発明し、ラテン語のグーテンベルグ聖書が世界で最初の印刷物となりました。世界で最初の英語の聖書は、1380年代にジョン・ウィクリフが手書きしたものです。歴史書によれば、完全な日本語の聖書ができたのは19世紀になってからです。ですから、この賛美歌が作詞されたのは、それらよりももっと前、キリストの降臨から700年ぐらいいろく経っていない頃でした。

この賛美歌は、元々は「O antiphons」と呼ばれ、7つのアンティフォナ（応答頌歌）から構成されていました。当時は、12月17～23日の間、Magnificat at Vespers（晩課でのマニフィカート）として毎日一つの交唱歌が歌われました。それぞれの交唱歌は、驚きと戸惑いを表す「O」と、それに続く旧約聖書中のキリストの呼び名で始まります：1. O Sapientia、2. O Adonai、3. O radix Jesse、4. O clavis David、5. O Oriens、6. O Rex gentium、7. O Emmanuel。面白いことがあります。これらの7つのキリストの呼び名の最初の文字を最後の節から逆に順番に並べると「ERO CRAS」になるということです。これは、ラテン語で「明日私は来る」という意味で、キリストの降臨をアナウンスするのにふさわしい言葉です。この賛美歌は旧約聖書に出てくるキリストの5つの名前に基づいて、「インマヌエル」で第1節が始まり、「くりかえし」でも繰り返されてキリストの降臨を喜び告げ知らせます。第2節以降は次のとおりです：2. エッサイより、3. あげぼの光、4. ダビデの子、5. アドナイの主。この賛美歌を「喜べ インマヌエル、主は来たりたもう」と歌うことは私たちの信仰の証です。「インマヌエル！神は我々と共におられる」（マタイによる福音書1章23節）。

大谷レニー(翻訳：宇賀治潔) 2013年9月